

リスクマネジメント

基本的な考え方

当社グループに経済的損失、事業の中断・停止、信用・ブランドイメージの失墜をもたらし、経営理念、経営目標、経営戦略の達成を阻害する様々なリスクに対して、適切に対応し事業の継続性と安定的発展を確保します。

リスクマネジメント体制

事業リスクの発生回避や発生時の損害の最小化を図るため、「リスク管理規程」を定めるとも

に、グループ全体のリスク管理・推進に関わる課題・対応策を協議する場として「リスク管理委員会」を設置しています。

モニタリング

「リスク管理委員会」は当社グループにおけるリスク管理の方針、体制および対策を検討するとともに、四半期ごとに顕在化したリスクなどの分析とリスク評価の見直し、その予防・再発防止対策の確認・検討を実施し、取締役会に「リスク評価結果」を報告しています。

重要リスクと対策

リスクカテゴリ	想定されるリスク事象
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> 法令・社内規程違反 財務報告の虚偽記載、虚偽情報の開示 物流業界の2024年問題
食の安全	<ul style="list-style-type: none"> 異物混入、不良商品の出荷、健康被害 リコール(回収費用、レピュテーションなど) 不当/虚偽表示
食肉の安定調達	<ul style="list-style-type: none"> 家畜・家禽の疾病発生、生産停止 運航遅延、港湾ストライキ、通関トラブル 電力、燃料、飼料、人件費高騰によるコスト高
食肉相場変動	<ul style="list-style-type: none"> 仕入価格と販売価格の逆転による収益悪化 余剰在庫、滞留在庫の増加による収益圧迫 輸入関税低下による国産食肉相場への影響
海外事業・輸取出引	<ul style="list-style-type: none"> 契約違反等による損害賠償 債権管理 世界情勢の不安定化
SDGs・ESG	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス排出量削減の取り組み不足 開示不備等による投資家からの不信任、企業価値低下 アニマルウェルフェアに対する取り組み不足
情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> 情報漏洩(インサイダー・機密・顧客・個人情報など) サイバー攻撃・ウイルス感染 システムダウン(ネットワーク、電源の障害)
人材・労務	<ul style="list-style-type: none"> 過疎や高齢化に伴う、人員不足 会社や職務の魅力低下による人材の社外流出

対策
<ul style="list-style-type: none"> 経営トップ訓示、従業員教育拡充、現場指導、内部通報システムの活用など 内部統制の強化、人事ローテーションの実施、内部監査の実施 物流業務の効率化、拠点の再編
<ul style="list-style-type: none"> 品質管理・保証体制の強化 外部認証制度(SQF)活用による品質管理水準の維持 情報共有の迅速化、商品(原料を含む)規格の定期的な見直し
<ul style="list-style-type: none"> 安定供給に向けた仕入先の多様化、提携先農場との協力体制強化 輸入先国の情報収集、仕入先(パッカー/産地)の多角化 エネルギー使用量の見える化による省エネ対策、省エネ効果の高い設備投資
<ul style="list-style-type: none"> 適正在庫水準のモニタリング 買越・売越商品の管理強化 ブランド食肉、加工食品等、付加価値商品の販売拡大
<ul style="list-style-type: none"> 品質基準等を契約書への明記 外部情報等の活用、取引信用保険の利用、定期的な与信見直し 支払決済条件の厳格化
<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ委員会、GHG削減委員会による温室効果ガス削減の取り組み強化 適切かつ積極的な開示 関連団体からの定期的な情報収集、設備の改修、従業員教育
<ul style="list-style-type: none"> 従業員へのセキュリティ教育実施、規程の制定および周知徹底 情報システムのセキュリティの継続的強化、危機管理体制の整備 ネットワーク会社の複数社契約、バックアップ機への切替訓練実施
<ul style="list-style-type: none"> 人事委員会設置、機械化・省力化の推進 魅力ある職場の実現(評価・報酬の納得性、仕事のやりがい、働きやすい職場風土など)、社内公募制度の導入、研修制度の充実